KENWOOD

サテライトスピーカーシステム

KSC-SS10

取付説明書

株式会社 ケンウッド Kenwood Corporation
©PRINTED IN CHINA B54-1245-00(TC)

お買い上げいただきましてありがとうございます。
取り付け・接続には、専門技術と経験が必要です。製品の取り付け・接続は安全のために必ずお買い上げの販売店または専門の業者に依頼してください。
ご使用の前にこの説明書をよくお読みのうえ、安全上・使用上の注意を守り、製品を正しくお使いください。
お読みになった後も大切に保管してください。車両の取扱説明書と一緒にしておかれるとよいでしょう。

1. はじめに

この説明書の中で、⚠警告 ⚠注意 のマークが付いている個所は特に大事なこと、最も重要なポイントです。この部分は特にしっかりとお読みください。
製品を安全にご使用いただくため「3. **安全上のご注意**」を取り付け・接続作業を始める前および使用する前によくお読みください。

● 取り付け可能な車両、取り付け・接続作業の説明でおわかりになりにくいところがありましたら、当社カスタマーサポートセンターにお問い合わせください。当社カスタマーサポートセンターへのお問い合わせ先は、この説明書の「保証とアフターサービス」の下方に記載してありますのでご参照ください。

■ 使用上の注意

● **エンジンを止めた状態で使用しない。**バッテリーが上がりますのでご注意ください。
● **本スピーカーシステムを大出力オーディオアンプと組み合わせてご使用になる場合、トーンコントロールや、ラウドネスコントロールなどで低音域を上げ過ぎない。**またグラフィックイコライザーの低音域を上げ過ぎない。スピーカーシステムに過大な負荷が加わり、故障の原因となります。
● **スピーカーを固い布やシンナー、アルコール等揮発性のものを使って拭かない。**傷が付いたり文字が消えることがあります。汚れたときは、シリコンクロスか、軟らかい布で乾拭きしてください。

■ 安全運転のために

● 運転中は、車外の音が聞こえる音量に調節してお楽しみください。またカーステレオの操作は、停車中に行うようにして安全運転を心がけてください。

※ 楽しい音楽も、時と場所によっては気になるものです。周りへの配慮を十分いたしましょう。ステレオの音量は、あなたの心がけ次第で大きくも小さくもなります。静かな夜間は小さな音でも聞こえやすいものです。夜間の音楽鑑賞には、特に気を配りましょう。お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

定格

方　式 …… 密閉方式
スピーカー
　ウーハー …… 66 mm
　　（BINCHO-TAN＋PPコーンタイプ）
　ツィーター …… 20 mm
　　（PEIバランスドドームタイプ）
公称インピーダンス …… 4 Ω
瞬間最大入力 …… 100 W
定格入力 …… 20 W
出力音圧レベル …… 83 dB／W at 1 m
再生周波数帯域 …… 120 Hz～70,000 Hz
本体質量 …… 420 g（1 個）
外形寸法 …… 幅　110mm
　　高さ　115mm
　　奥行　122mm

これらの定格およびデザインは、技術開発に伴い、予告なく変更になることがあります。

保証書とアフターサービス（よくお読みください）

保証書（別添）
この製品には、保証書を別途添付しております。
保証書は必ず「お買い上げ日、販売店名」等の記入をお確かめの上、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

保証期間
保証期間は、お買い上げの日より 1 年間です。

補修用性能部品の最低保有期間
当社では、カースピーカーの補修用性能部品は製造打切後、最低 6 年保有しています。

修理に関するご相談ならびにご不明な点は
修理に関するご相談ならびにご不明な点は、お買い上げの販売店またはケンウッドのサービスセンター、営業所へお問い合わせください。（お問い合わせは、添付の“ケンウッド全国サービス網”をご覧ください。）

修理を依頼されるときは
異常があるときは、ご使用を中止し、ケンウッドのサービスセンターへお問い合わせください。

保証期間内でも「安全上の注意事項」を守らない使用で故障および破損の場合には、原則として有料にさせていただきます。

保証期間中は
保証期間中は、保証書の規定に従って、お買い上げの販売店またはケンウッドのサービスセンター、営業所が修理させていただきます。修理に際しましては、保証書をご提示ください。

保証期間が過ぎているときは
保証期間が過ぎていても修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。

修理料金の仕組
（有料修理の場合は、次の料金をいただきます。）

技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。技術者の人件費、測定機器等設備費、一般管理費等が含まれます。
部品代	修理に使用した部品代です。その他修理に付帯する部材等を含む場合もあります。

お買い上げ店名

年　月　日

KENWOOD

株式会社 ケンウッド
〒192-8525　東京都八王子市石川町 2967-3

商品および商品の取り扱いに関するお問い合わせは、カスタマーサポートセンターをご利用ください。
カスタマーサポートセンター　電話(0570)010-114（ナビダイヤル）、携帯電話・PHS でのご利用は電話(045)933-5133
〒226-8525 横浜市緑区白山 1-16-2　FAX(045)933-5553
アフターサービスについては、お買い上げの販売店か、または「ケンウッド全国サービス網」をご参照のうえ、最寄りのサービス窓口にご相談ください。

2. 取り付け・接続

取り付け・接続には、専門技術と経験が必要です。製品の取り付け・接続は安全のために必ずお買い上げの販売店または専門の業者に依頼してください。

2-1. 取り付け・接続前の準備

1. 付属品の確認

● 最初に、下記部品がそろっているかご確認ください。

No.	部品名	外形	数量	No.	部品名	外形	数量
①	取付金具		2	⑥	結束バンド		2
②	スペーサ（①取付金具にバンドでつなげてあります）		2	⑦	ねじ(M6×10mm)		2
③	スピーカー延長コード（7m）		2	⑧	ねじ(M5×18mm)		4
④	ネットワーク付コード（0.3m）		2	⑨	フランジナット(M5)		4
⑤	エレクトロタップ		8	⑩	六角レンチ		1

2. 必要工具の準備

●プラス用ドライバー　●マイナス用ドライバー　●ニッパー　●プライヤー
●カッターナイフ　●クリップ外し　●ビニールテープ　●スパナ
●リムーバー（樹脂製）

⚠警告
必ず寸法の合った工具をお使いください。合わない工具を使用すると、ボルト、ナットをいためたり、締め付けが不十分でスピーカーが落下してけがの原因となります。

3. 電気系統の安全確保

● ショート事故防止のため、必ずバッテリーから ⊖（マイナス）ケーブルをはずしてください。バッテリーケーブルのはずしかたについては、車両の取扱説明書をご参照ください。
車両によっては、バッテリーをはずすと機能の一部（ラジオのプリセットなど）が失われますが、ご了承ください。

2-2. 取り付け・接続作業手順

● 取り付けはこの説明書「4. 取り付けかた」の説明に従って注意事項を守り取り付けてください。
● 接続はこの説明書「5. 接続のしかた」の説明に従って注意事項を守り接続してください。

2-3. 取り付け・接続が終わったら

● 取り付けがすべて終わったら、スピーカーを上下・前後左右に動かしてみて、ガタつきがないかどうか確認してください。ガタつきがあるとスピーカーが落下してけがの原因となります。
● バッテリーの接続・音の確認
スピーカーコードの配線に間違いがないかもう一度確認してから、先に取り外したバッテリーの ⊖（マイナス）端子ケーブルを元に戻します。
キーを入れカーステレオのスイッチをオンにして、音が出ることを確認してください。

2-4. 定期点検のお願い

● 取り付けたねじがゆるんで抜けたりすると、スピーカーの落下事故につながります。定期的に点検されるようお願いします。
● 下表をめやすとして、各取り付け部の点検・締めつけを行ってください。

	項目	・一ヶ月毎 ・オフロード走行＊1の前後	一年毎	備考
1	スピーカーのガタつき	○	○	スピーカーを手で動かしてみる
2	スピーカーと取付金具取り付け部のガタつき		○	《取り付け手順２》参照
3	ワイヤーの固定部のガタつき		○	《取り付け手順３》参照
4	取付金具取り付け部のガタつき		○	《取り付け手順４》参照

＊1 オフロード走行とは、荒れた山道あるいは大きな石や岩がころがっている河原など、一般の道路ではない地帯を走ることをいいます。

⚠警告
スピーカーのガタつき点検において、異常が認められた場合は、原因を確認のうえ、該当する部分のねじ締めなどをきちんと行ってください。

3. 安全上のご注意

製品を安全にご使用いただくため、「安全上のご注意」をご使用の前によくお読みください。

絵表示について
この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止する為に、いろいろな絵表示をしています。
その表示と意味は次のようになっています。内容を良く理解してから、本文をお読みください。

⚠警告　この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

⚠注意　この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が軽傷を負う可能性が想定される内容、および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例
⚠記号は、注意（警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。
⃠記号は、禁止の行為であることを告げるものです。
❗記号は、行為を強制したり指示する内容を告げるものです。

お客様または第三者が、この製品の誤使用・故障・その他の不具合およびこの製品の使用によって受けられた損害につきましては、法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

⚠警告

■ 取り付け・接続作業上の注意

取り付け・配線作業は販売店または専門の業者に依頼し、作業に際しては取扱説明書に従って行う
取り付け、配線作業には、専門技術と経験が必要です。安全のために必ずお買い上げの販売店または専門の業者に作業を依頼してください。また作業の際には製品の取付説明書の指定通りに行ってください。
誤った取り付けを行うとスピーカーが落下したり、急ブレーキをかけたときにスピーカーが外れて人にぶつかったり、重大な事故が起きる危険性があります。
誤った配線を行うと感電、火災の原因となります。
この説明書の手順・指示にしたがわない取り付け、取り付け不備を含め、これらによって起きた事故に対して、当社は一切責任を負うことができませんのでご注意ください。

作業時は、車両バッテリーの配線を外す
取り付け、配線などを行う前に、必ずバッテリーのマイナス端子のコードを外してください。
バッテリーに接続したまま配線すると、ショート事故＊2が起こり、火災の原因となります。

安全な場所に設置する
取り付けに際しましては、ドライバーの視界を妨げない場所や、車の運転の邪魔にならない場所、急停車等の場合に、同乗者に危険を与えないような場所、エアバッグの作動に支障がない場所に取り付けてください。
安全な場所に取り付けない場合、けが、事故の原因となります。（4-1.取り付け例参照）

工具は寸法が合ったものを使用する
ボルト、ナットを締める時は、寸法の合った工具を使用して確実に行ってください。指示トルクがあるものは指定されたトルクで締め付けてください。
合わない工具を使用すると、ボルト、ナットをいためたり、締め付けが不十分でスピーカーが落下してけがの原因となります。

取り付けには専用の付属品を使用する
製品の取り付けの際には、必ず付属の取付用部品をご使用ください。取り付け不備により、運転中に製品が外れて人にぶつかるなど、けがの原因となります。

取り付け後、車両の点検を行う
製品の取り付けが終了したら、車両のブレーキランプ、ヘッドランプ、ウインカー、ワイパーなどが正常に動作することを必ず確認してください。
配線ミスなどで車両の機能が損なわれていると、交通事故の原因となります。

コードは正しく接続する
スピーカーコードはスピーカーの入力コードへ直接配線してください。
車体に直接ねじ止めをしたり、スピーカーコードの ⊖ 側を共通にして配線すると破損・火災の原因となります。

配線コードはテープを巻いて保護する
車両の金属部近くを通るコードには保護用テープを巻いてください。
金属の端部分は鋭くなっていて、コードを傷めます。コードが傷つくと、感電や、ショート事故＊2による火災の原因となります。

車両のヒューズは規定のものを使用する
ヒューズが切れた時は、配線したコードがショート＊2していないことを確認後、必ずヒューズボックスに表示された規定容量（アンペア数）のものと交換してください。
ヒューズ交換は、車両の取扱説明書を参照してください。
規定以外のヒューズを使うと、火災の原因となります。

指定以外のコードは使わない
取付説明書などに指定されたもの以外のコードは使用しないでください。
発熱し、火災の原因となることがあります。
指定コードが不明の場合は、販売店または当社カスタマーサポートセンターにお問い合わせください。

電源コードの被覆を切った配線はしない
電源コードの被覆を途中で切って他の機器の電源を取ることは、絶対におやめください。
ショート事故＊2が起こり、火災の原因となります。

■ 取り扱い上の注意

オーディオの操作は、停車してから行う
オーディオの操作は、必ず安全な場所に停車させてから行ってください。
運転しながら操作を行うと、気を取られて交通事故の原因となります。

大音量は禁止
走行中は、車外の音が聞こえなくなるような大音量にはしないでください。
周りの出来事に気づかず、交通事故の原因となります。

異常な音を出し続けない
スピーカーを長時間、音がわれたり、歪んだ状態で使わないでください。
発熱し、火災の原因となることがあります。

異常が起きた場合はすぐに使用を中止する
次のような異常がおきた場合は、すぐに使用を中止してください。
● 音が出ない　● 水がかかった
● 金属や紙などの異物が入った
● 煙りが出る　● 変な音や臭いがする
そのまま使用を続けると火災、その他の事故の原因となります。
異常が起きた場合は、カーステレオの電源スイッチを切り安全を確かめてから、販売店、ケンウッドサービスセンター、営業所へご相談ください。

改造しない
改造やお客さまによる修理は、火災その他の事故の原因となります。
点検、修理は販売店、ケンウッドサービスセンターまたは営業所へご相談ください。

頭上が狭くなった座席は使用しない
スピーカーを取り付けた後、座席によっては頭部との間隔が狭くなることがあります。このような場合、座席としての使用は行わないでください。
荒れた道路の走行時、急ブレーキ時などに、スピーカーにぶつかるなど、けがの原因となります。
（4-1.取り付け例参照）

ワイヤーは必ず車両に取り付ける
ワイヤーはねじのゆるみなどによるスピーカーの落下を一時的に防止する一種の安全装置ですので、必ず取り付けてください。
取り付けない場合スピーカーが落下してけがの原因となります。（4-2.取り付け手順の 3.項参照）

＊2 ショート、ショート事故
電気のプラスとマイナスが直接つながってしまうことを言います。むき出しになったコード（電気配線）が他のコードや、車の金属部に接触した時などに起こります。火花が散り、周りの物に引火して火災の原因につながります。

⚠注意

■ 取り付け・接続作業上の注意

取り付け用部品は乳幼児の手の届かないところに置く
付属の取り付け用部品には、小さな部品があります。過って飲み込まないように、以下の点を注意してください。
●取り付け、取り外しを行うときは、お子様の手の届くところに部品を放置しないでください。
●作業後は行方がわからない部品が無いことを、取付説明書の付属品一覧で部品、数量を確認してください。
●使用しない部品はお子様の手の届かないところに保管してください。
万一、お子さまが飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。

直射日光はさける
直射日光が当たるところや、ヒーターの熱風が直接当たる場所への設置はさけてください。
スピーカーが高温になり、火災ややけどの原因となります。

水をかけたりぬらさない
雨が吹き込むところや、水がかかるおそれのある場所への設置はさけてください。
感電や火災の原因となります。

ほこりや湿気の多い場所、不安定な場所をさける
ほこりがかかるところや湿気の多い所、振動の多い場所、ガタつきのあるトリムなどの不安定な場所への設置はさけてください。
感電、火災やけがの原因となります。

車以外には使わない
製品は車に設置して使うように設計されたものです。他の用途では使用しないでください。
取り付け不備などにより、スピーカーが落下してけがの原因となります。

配線コードを引っ張らない
コネクターを外すときは、コード線を引っ張らずにコネクター本体をもってロックを外してください。
コード線の断線や、接触不良により感電や火災の原因となります

■ 取り扱い上の注意

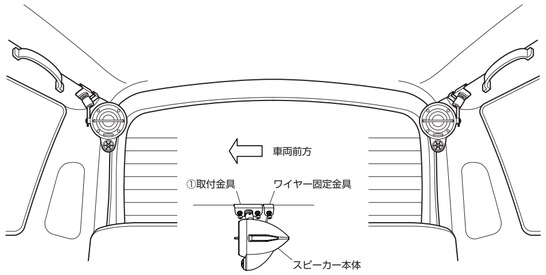
お子様はスピーカーに手が届かない座席に座らせる
お子様は、スピーカーや配線コードに手が届かない座席に座らせてください。
むやみに触れると、スピーカーが落下してけがの原因となります。

スピーカーにぶら下がらない
特にお子様が、スピーカーにぶら下がったり、つかまったりしないようご注意ください。
こわれたり、取り付けが弱くなりスピーカーが落下してけがの原因となります。

4. 取り付けかた

4-1. 取り付け例

付属の取付金具を使用して、着座位置より後方のトリム（樹脂製の内装材）に取り付けてください。



⚠警告
つぎのような位置への取り付けはしないでください。事故・けがの原因となります。

- 車両後部以外の位置への取り付け
- エアバッグが作動した時に干渉する位置への取り付け
- シートをリクライニングした場合に頭・シート・ヘッドレストに接触する位置への取り付け
- シートを跳ね上げる等の収納時に接触する位置への取り付け
- 視界を妨げる位置への取り付け
- 乗降時に接触する位置への取り付け
- トリムにガタつきがある位置への取り付け
- チャイルドシートの近傍への取り付け
- シートベルトがスピーカーに接する位置への取り付け（図4-1）
- 取り付けたスピーカーが、頭に近い位置になるトリムへの取り付け（図4-2）
  急発進、急停止、揺れなどでも頭や体がスピーカーに触れることがないように、十分に人との空間を確保してください。

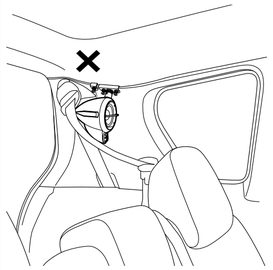


図4-1

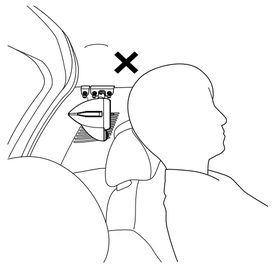


図4-2

- 外周部に角度がついているトリムへの取り付け（図4-3）
- 水平または水平に近い角度のトリムへの取り付け（図4-4）

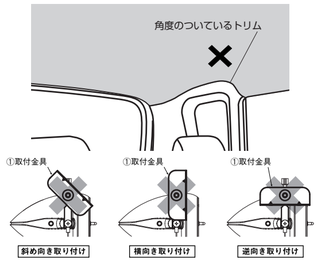


図4-3

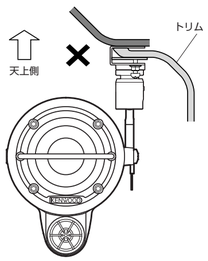


図4-4

- 外周部が曲線になっているトリム（図4-5）、取り付け金具の奥まで差し込みができないトリム（図4-6）への取り付け

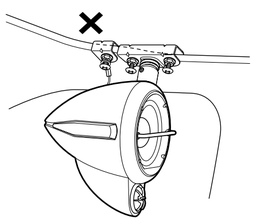


図4-5

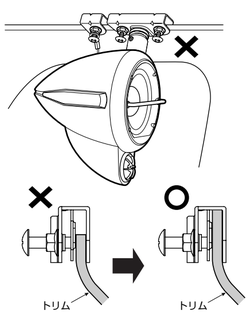


図4-6

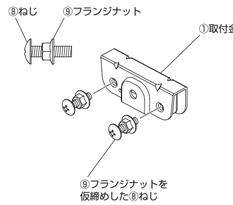
4-2. 取り付け手順

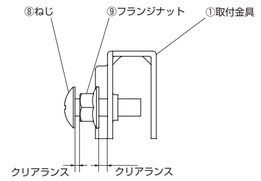
取り付けは右側（運転席側）スピーカーで説明しています。左側（助手席側）のスピーカーも、右側と同じ方法で取り付けてください。

※ 図中付属品は、「2-1.取り付け・接続前の準備の 1.付属品の確認」の表に示すNo.と部品名で表記しています。

■ 取り付け

1. あらかじめ⑨フランジナットを図のように仮締めした⑧ねじを①取付金具へ仮締めします。

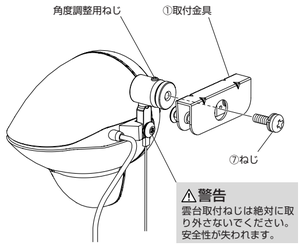




⑨フランジナットはこの後最終的な締め込みを行いますので締め過ぎに注意してください。
（図のようにクリアランスを持たせる。）

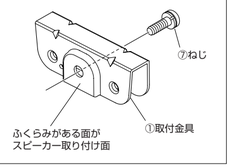
2. ①取付金具をスピーカー本体の金具へ⑦ねじを使用し固定します。

※ **角度調整用ねじがゆるんだ状態では①取付金具を十分に固定することはできません。**ゆるみがある場合は角度調整用ねじを付属品⑩六角レンチで締めつけてから⑦ねじで締めつけてください。



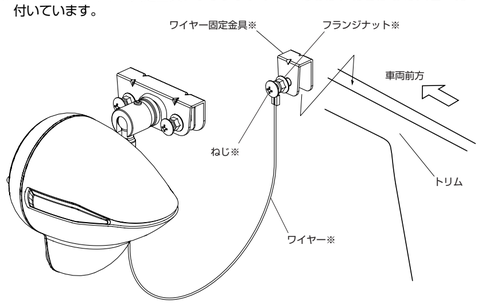
⚠警告
雲台取付ねじは絶対に取り外さないでください。安全性が失われます。

①取付金具のふくらみがある面をスピーカー取り付け面になるように、⑦ねじを通してください。



3. 「4-1. 取り付け例」を参考に取り付け位置を決め、車両のトリムをリムーバーまたはテープを巻きつけたマイナスドライバーなどで軽く広げ、ワイヤー固定金具を差し込み、ねじを締め込み固定してください。その後ねじのゆるみを防止するためフランジナットを締め込み最終固定してください。

※ ワイヤー、ワイヤー固定金具、フランジナット、ねじは、あらかじめスピーカー本体に取り付いています。

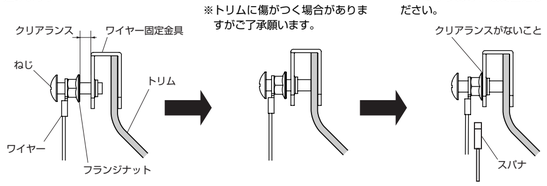


ワイヤー固定金具のトリムへの取り付け手順

★金具を差し込む★
ワイヤー固定金具をトリムへ差し込みます。

★ねじを締めこむ★
ねじを(＋)ドライバを使用して締めてください。
※トリムに傷がつく場合がありますがご了承願います。

★フランジナットを締め込む★
スパナを使用してフランジナットをしっかり締め、最終固定してください。



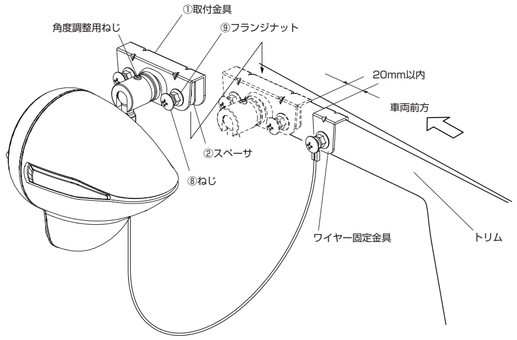
確認する項目
・フランジナットが緩んでいて、クリアランスがあること。
・トリムのふちが金具の奥まで差し込まれていること。
・金具が水平であること。

確認する項目
・ねじ先端がしっかりとトリムに当たっていること。

確認する項目
・フランジナットがしっかり締められていて、クリアランスがないこと。

⚠注意
- ワイヤーは、ねじのゆるみなどによるスピーカーの落下を一時的に防止する、一種の安全装置です。**必ず取り付けてください。**取り付けない場合スピーカーが落下してけがの原因となります。
- **この作業を行う際には必ず作業助手にスピーカー本体を保持してもらってください。**スピーカー本体を保持せずスピーカーをぶらさげた状態で作業を行いますと、スピーカー本体の破損や、トリムが傷つく可能性や思わぬけがをすることがあります。

4. 角度調整用ねじを⑩六角レンチでゆるめスピーカー本体の角度調整ができる状態にして、車両のトリムをリムーバーまたはテープを巻きつけたマイナスドライバーなどで軽く広げ、①取付金具をワイヤー固定金具に並べて差し込み、⑧ねじを締め込み固定してください。その後⑧ねじのゆるみを防止するため⑦フランジナットを締め込み最終固定してください。
ワイヤー固定金具から離れた位置に①取付金具を取り付けるとスピーカー角度調節ができなくなる場合があります。

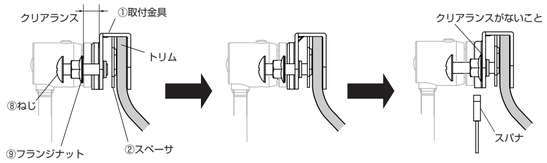


取付金具のトリムへの取り付け手順

★金具を差し込む★
"オモテ"の刻印を手前に向けた②スペーサでトリムをはさみこむようにして①取付金具をトリムへ差し込みます。

★⑧ねじを締めこむ★
⑧ねじを(＋)ドライバを使用して締めてください。
※トリムに傷がつく場合がありますがご了承願います。

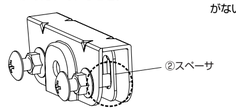
★⑨フランジナットを締め込む★
スパナを使用して⑨フランジナットをしっかり締め、最終固定してください。

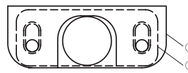


確認する項目
・フランジナットが緩んでいて、クリアランスがあること。
・トリムのふちが金具の奥まで差し込まれていること。
・金具が水平であること。
・スペーサとトリムの位置関係が間違っていないこと。

確認する項目
・スペーサの凹部に⑧ねじ先端があたっていること。

確認する項目
・フランジナットがしっかり締められていて、クリアランスがないこと。

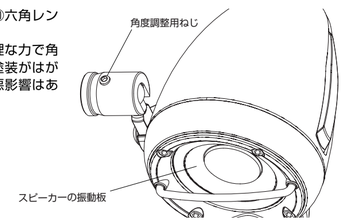




⚠注意
- **①取付金具はワイヤー固定金具よりも車両前方に取り付けてください。**

5. スピーカー本体の角度を決め、⑩六角レンチで角度調整用ねじを締め込みしっかりと固定してください。

※ 角度調整用ねじは必ず付属の⑩六角レンチを使用して締めてください。
頻繁に角度調整を行ったり無理な力で角度調整を行うと、金属部分の塗装がはがれる場合がありますが機能に悪影響はありません。



⚠注意
- 角度を調節する場合は、必ずスピーカー本体の金具にとめてある角度調整用ねじをゆるめてから行ってください。ゆるめないまま無理に力を加えますと金具が折れてけがをする等のおそれがあります。
- ゆるんだ状態のまま走行しますと、スピーカーがはずれて落下する等、大変危険ですので必ず締めつけた状態で走行してください。
- スピーカーの振動板に触れることは、絶対しないでください。故障の原因となることがあります。
- 車種によってトリムにガタつきのあるものがあります。この場合は、ガタつきのない場所へ移動してください。

6. 取り付けが終わったら、スピーカーを上下・前後左右に動かしてみて、ガタつきがないかどうか確認してください。ガタつきがあるとスピーカーが落下してけがの原因となります。
確認後「5.接続のしかた」を参照し、スピーカーコードの接続を行ってください。

■ 取り外し

取り外す場合には、「4-2. 取り付け手順」の逆手順で取り外してください。

5. 接続のしかた

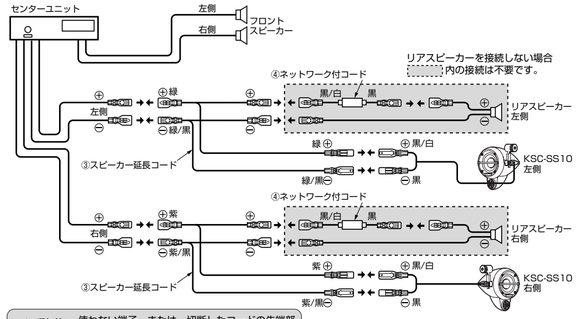
カーステレオをより効果的に楽しむための代表的な接続例です。参考にしてください。
●本機とリアスピーカーを併用する場合は、リアスピーカーは低音域再生専用となります。
●④ネットワーク付コードの黒/白コードを入力側（センターユニット側）に接続してください。

※ 図中付属品は、「2-1.取り付け・接続前の準備の 1.付属品の確認」の表に示すNo.と部品名で表記しています。

⚠注意
本機とリアスピーカーを併用する場合は、必ず④ネットワーク付コードを使用してください。
オーディオアンプに過負荷がかかり、破損するおそれがあります。

5-1. 接続例

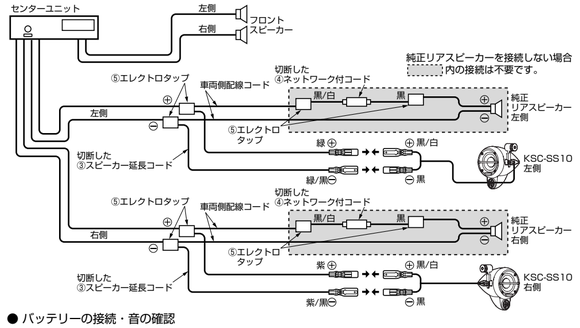
■ 市販品センターユニットとの接続



⚠警告 使わない端子、または、切断したコードの先端部分はビニールテープ等で巻いて絶縁してください。

■ 純正品センターユニットとの接続

純正リアスピーカーの配線を切断して接続しますので、元に戻すことができません。ご注意ください。

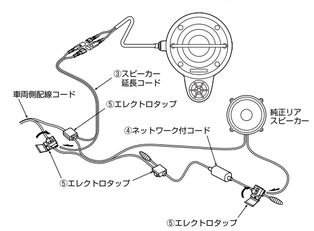


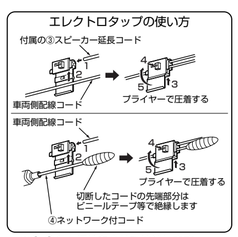
- バッテリーの接続・音の確認
  スピーカーコードの配線に間違いがないかもう一度確認してから、先に取り外したバッテリーの ⊖（マイナス）端子ケーブルを元に戻します。
  キーを入れカーステレオのスイッチをオンにして、音が出ることを確認してください。

5-2. ⑤エレクトロタップの使いかた

1. 付属の③スピーカー延長コード、④ネットワーク付コードを切断します。

2. 付属の⑤エレクトロタップで接続します。

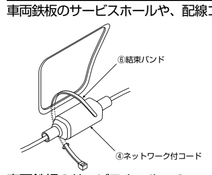




※⊕ ⊖各々極性を合せて接続します。

5-3. ④ネットワーク付コードの取り付け例

車両鉄板のサービスホールや、配線コードのクランプ位置に⑥結束バンドを用いて固定してください。



車両鉄板のサービスホールへの
取り付け例

⚠注意
- **ネットワークは必ず固定してください。**固定されないと接続不良や断線の原因になる可能性があります。
- **水がかかったり、熱風が当たる場所には取り付けないでください。**ショートにより感電、火災の原因となります。